平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名　株式会社 デイトナ　　上場取引所　東
コード番号　7228　URL　http://www.daytona.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）鈴木　紳一郎
問合せ先責任者（役職名）取締役管理部長　（氏名）中嶋　哲司　TEL 0538-84-2200

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	2,895	0.1	164	28.7	172	43.5	104	△26.0
24年12月期第2四半期	2,893	△5.7	127	0.8	119	△2.9	140	108.5

（注）包括利益　25年12月期第2四半期　99百万円　（△32.8%）　24年12月期第2四半期　147百万円　（161.5%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	49.58	49.27
24年12月期第2四半期	67.02	66.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	5,079	2,171	41.4
24年12月期	4,881	2,098	41.4

（参考）自己資本　25年12月期第2四半期　2,100百万円　24年12月期　2,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	0.00	―	12.50	12.50
25年12月期	―	0.00			
25年12月期（予想）			―	12.50	12.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年 1月 1日～平成25年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,912	0.6	369	39.3	367	42.7	234	△17.9	111.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	3,602,600 株	24年12月期	3,602,600 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	1,497,972 株	24年12月期	1,497,972 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	2,104,628 株	24年12月期2Q	2,102,812 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
当社は、平成25年9月12日に日本証券アナリスト協会が主催する個人投資家向け会社説明会において、業績等の状況を含めた説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……P. 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……P. 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……P. 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……P. 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……P. 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……P. 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……P. 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……P. 4
３．四半期連結財務諸表 ……P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 ……P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P. 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……P. 9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……P. 10
（５）セグメント情報等 ……P. 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……P. 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の積極的な経済政策、金融政策等により、円安、株高が進行し、自動車など輸出企業を中心とした企業業績の回復感が見られ、また、百貨店などで高額品が売れるなど、消費マインドの改善も見られる状況となりました。

二輪車業界においても、軽二輪車、自動二輪車の販売台数の増加など明るさが見られました。アフターパーツ業界も、マフラーなどの高額品の購入を即決する方や、発表時に予約申し込みをされる方が増えるなど、景気の回復感を実感する場面も一部には出てきております。

当社グループにおいても、国内卸売事業の販売は引き続き好調に推移しましたが、小売事業については、前年7月の1店舗閉鎖などの影響により売上高が減少しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の連結売上高は28億95百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は１億64百万円（前年同四半期比28.7%増）、経常利益は１億72百万円（前年同四半期比43.5%増）、四半期純利益は１億4百万円（前年同四半期比26.0%減）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業においては、ツーリング用品や、インターネット通販業者向けの販売が引き続き好調に推移した結果、売上高は18億11百万円（前年同四半期比8.1%増）、セグメント利益は１億90百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。また、当期は年初より円安による仕入れコストの増大が利益を大きく圧迫することを懸念しておりましたが、為替予約の実施、一部商品の国内生産への切替などにより、当第２四半期連結累計期間においては、利益面で想定を大きく上回る結果となりました。

[アジア拠点卸売事業]

バイクメーカー及び現地卸商からの受注が引き続き順調であったため、売上高96百万円（前年同四半期比77.6%増）、セグメント利益は１百万円（前年同四半期はセグメント損失９百万円）となりました。

[小売事業]

小売事業においては、インターネット通販などによるお客様の購入方法の変化など、厳しい状況が続いておりますが、接客品質の向上や中古部品の販売、自転車の販売などの多角化による収益向上を推進しております。また前年7月に千葉湾岸店を閉鎖したため、前期の４店舗体制から３店舗体制へと変わっております。このような状況の中、売上高は、10億32百万円（前年同四半期比16.3%減）、セグメント損失は35百万円（前年同四半期はセグメント損失28百万円）となりました。

[その他]

本社屋屋上に設置し、昨年11月末から稼動している300kWの太陽光発電事業システムは、日照も順調で、売上高は８百万円、セグメント利益は１百万円となりました。なお、現在本社敷地内に550kWの太陽光発電システムの増設を進めておりますが、太陽光パネルの納入までの期間が大変長くなっていることもあり、来年１月末からの稼動を予定しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（流動資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6.8%増加し、25億70百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が１億29百万円、たな卸資産が29百万円増加したことなどによります。

（固定資産）

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1.4%増加し、25億8百万円となりました。これは、有形固定資産が35百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ１億98百万円増加し、50億79百万円となりました。

（流動負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ7.1%増加し、15億97百万円となりました。これは、短期借入金が１億24百万円増加したことなどによります。

（固定負債）

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1.5%増加し、13億10百万円となりました。これは、長期借入金が99百万円増加しましたが、社債が68百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加し、29億7百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3.5%増加し、21億71百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の経過時点での業績は、予想に対して売上高に若干の伸長が見られ、また利益面においても売上高の伸びと為替予約などのリスクヘッジを図ったことにより、予想を上回る結果となりました。しかしながら下期においては、引き続き為替の変動により海外からの仕入コストの増加などが予想されるため、これらを加味した予想をしております。なお、今後の天候や、経済環境の変動によるユーザーの消費マインドの減少などの不確定要因により業績への影響が発生する可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第２四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	436,637	370,149
受取手形及び売掛金	341,030	471,026
たな卸資産	1,484,877	1,514,158
その他	154,418	225,520
貸倒引当金	△9,340	△9,946
流動資産合計	2,407,622	2,570,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	750,039	771,850
土地	1,483,344	1,484,289
その他（純額）	161,821	174,729
有形固定資産合計	2,395,205	2,430,869
無形固定資産	29,744	26,435
投資その他の資産		
その他	113,546	52,325
貸倒引当金	△64,601	△805
投資その他の資産合計	48,944	51,520
固定資産合計	2,473,894	2,508,824
資産合計	4,881,517	5,079,732
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,047	266,180
短期借入金	858,674	899,251
賞与引当金	16,096	18,300
未払法人税等	47,150	88,132
その他	328,508	325,666
流動負債合計	1,491,478	1,597,531
固定負債		
社債	432,320	363,480
長期借入金	771,204	870,803
退職給付引当金	685	847
その他	87,163	75,108
固定負債合計	1,291,373	1,310,238
負債合計	2,782,851	2,907,770

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,454	412,454
資本剰余金	341,182	341,182
利益剰余金	2,029,515	2,107,567
自己株式	△747,130	△747,130
株主資本合計	2,036,021	2,114,073
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△14,533	△13,356
その他の包括利益累計額合計	△14,533	△13,356
少数株主持分	77,177	71,245
純資産合計	2,098,665	2,171,962
負債純資産合計	4,881,517	5,079,732

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	2,893,377	2,895,016
売上原価	1,793,612	1,821,102
売上総利益	1,099,765	1,073,914
販売費及び一般管理費	971,894	909,393
営業利益	127,871	164,521
営業外収益		
受取手数料	4,915	5,065
為替差益	－	10,683
その他	5,747	7,379
営業外収益合計	10,662	23,127
営業外費用		
支払利息	11,754	10,220
その他	6,912	5,390
営業外費用合計	18,667	15,610
経常利益	119,866	172,038
特別利益		
固定資産売却益	735	244
店舗移転補償金	66,263	－
負ののれん発生益	30,981	－
特別利益合計	97,980	244
特別損失		
固定資産除却損	540	－
特別損失合計	540	－
税金等調整前四半期純利益	217,306	172,282
法人税、住民税及び事業税	70,859	86,359
法人税等調整額	△1,416	△12,198
法人税等合計	69,443	74,161
少数株主損益調整前四半期純利益	147,862	98,121
少数株主利益又は少数株主損失（△）	6,929	△6,237
四半期純利益	140,933	104,359

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	147,862	98,121
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△59	1,260
その他の包括利益合計	△59	1,260
四半期包括利益	147,803	99,382
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,874	105,614
少数株主に係る四半期包括利益	6,928	△6,232

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	217,306	172,282
減価償却費	50,019	53,368
負ののれん発生益	△30,981	―
店舗移転補償金	△66,263	―
支払利息	11,754	10,220
受取利息及び受取配当金	△43	△46
売上債権の増減額（△は増加）	△116,507	△128,589
たな卸資産の増減額（△は増加）	△97,090	△28,399
仕入債務の増減額（△は減少）	35,289	24,228
未払消費税等の増減額（△は減少）	△13,703	3,410
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△227	△63,191
その他	△2,368	△3,643
小計	△12,815	39,639
利息及び配当金の受取額	40	38
利息の支払額	△12,444	△10,857
店舗移転補償金の受取額	90,141	―
法人税等の支払額	△65,678	△45,799
営業活動によるキャッシュ・フロー	△755	△16,977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	13,900	13,900
定期預金の預入による支出	△16,205	△17,207
関係会社株式の取得による支出	△21,750	―
有形固定資産の取得による支出	△66,456	△83,390
有形固定資産の売却による収入	766	284
無形固定資産の取得による支出	△1,107	△348
差入保証金の回収による収入	9,183	362
差入保証金の差入による支出	△11,879	△1,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,549	△88,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	329,570	118,304
長期借入れによる収入	―	250,000
長期借入金の返済による支出	△115,820	△233,966
リース債務の返済による支出	△8,599	△5,814
社債の償還による支出	△68,840	△68,840
配当金の支払額	△22,023	△26,288
その他	3	―
財務活動によるキャッシュ・フロー	114,291	33,395
現金及び現金同等物に係る換算差額	△347	2,002
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	19,638	△69,795
現金及び現金同等物の期首残高	255,028	315,592
現金及び現金同等物の四半期末残高	274,667	245,796

（４）継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日）

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額(注) 2
	国内拠点卸売事業	アジア拠点卸売事業	小売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,619,254	40,660	1,233,462	2,893,377	―	2,893,377
セグメント間の内部売上高又は振替高	56,155	13,573	16	69,744	△69,744	―
計	1,675,409	54,234	1,233,479	2,963,122	△69,744	2,893,377
セグメント利益又は損失（△）	166,257	△9,396	△28,070	128,790	△919	127,871

（注）1　セグメント利益又は損失(△）の調整額△919千円は、セグメント間取引消去869千円、たな卸資産の調整額△2,350千円、固定資産の調整額561千円が含まれております。

2　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	国内拠点卸売事業	アジア拠点卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,768,801	86,086	1,031,876	2,886,765	8,251	2,895,016	―	2,895,016
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,752	10,214	130	53,096	―	53,096	△53,096	―
計	1,811,554	96,301	1,032,006	2,939,862	8,251	2,948,113	△53,096	2,895,016
セグメント利益又は損失（△）	190,534	1,255	△35,131	156,657	1,508	158,165	6,355	164,521

（注）1　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2　セグメント利益又は損失(△）の調整額6,355千円は、セグメント間取引消去2,014千円、たな卸資産の調整額3,887千円、固定資産の調整額452千円が含まれております。

3　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日）

該当事項はありません。